

横浜市の中学校昼食に関する懇談会の開催結果等について

1 趣旨

ハマ弁は、本市と事業者で平成28年度から5年間の協定を締結しており、令和2年度末で当初の協定期間が終了します。

令和3年度以降に向けて、ハマ弁のこれまでの取組状況を検証・評価するとともに、選択制の充実に向け、**より使いやすいハマ弁**となるよう検討するため、昨年9月より、**外部の有識者も含めた『横浜市の中学校昼食に関する懇談会』を開催し、生徒・保護者等に対するアンケート調査や事業者へのサウンディング調査を実施**してまいりましたので、結果を報告します。

2 『横浜市の中学校昼食に関する懇談会』の開催概要について

(1) 委員構成

外部有識者5名、保護者代表：3名、学校代表者：4名 計12名

※委員名簿は「資料2」参照

(2) 意見聴取事項

横浜市の中学校昼食の現状について、令和3年度以降のハマ弁の方向性について 等

(3) 開催経過及び主な議題

| | 開催日 | 主な議題 |
|-----|---------------|---|
| 第1回 | 令和元年9月27日(金) | 横浜市の中学校の現状等について 横浜市中学校昼食に関するアンケート調査について |
| 第2回 | 令和元年10月31日(木) | 横浜市中学校昼食に関するアンケート調査について ハマ弁の事業促進に向けたこれまでの取組状況について ハマ弁と他都市のデリバリー型給食の比較について |
| 第3回 | 令和元年11月29日(金) | ハマ弁についての対話(サウンディング調査)の結果について 横浜市中学校昼食に関するアンケート調査分析結果について |
| 第4回 | 令和元年12月27日(金) | 横浜市中学校昼食に関するアンケートについて 令和3年度以降のハマ弁の方向性について |

3 横浜市中学校昼食に関するアンケート調査結果について(概要)

(1) 横浜市中学校昼食に関するアンケート(以下「アンケート」という。)調査概要

《実施日程》 令和元年10月7日(月)から10月15日(火)

《対象者》 中学校の生徒、保護者、教職員(各区から1校、各学年から2クラス抽出)
小学校6年生の児童、保護者、教職員(給食室改修校6校、6年生の全クラスで実施)

《調査項目》 昼食の実態(現在の「選択制」について、昼食時間について等)
ハマ弁の現状、改善等(満足度、改善点、今後のニーズ等)

《回収率》 中学校：68.7%、小学校：75.1%

※回答者合計6,966人/10,038人(69.4%)

(2) 主なアンケート調査結果

設問：横浜市の中学校昼食の「選択制」について（複数回答）

- ・生徒・保護者・教職員すべての対象者で「自由に選択できるのが良い」と選択した人が最も多い。
（中学校生徒：77.6%、中学校保護者：51.7%、中学校教職員：80.8%、小学校教職員：80.2%）
- ・中学校保護者では、「全員が同じものを食べる方が良い」と選択した人が他の対象者と比較して多い。
（中学校生徒：6.3%、中学校保護者：33.2%、中学校教職員：10.1%、小学校教職員：13.5%）

設問：弁当作りをどのように感じているか（複数回答）

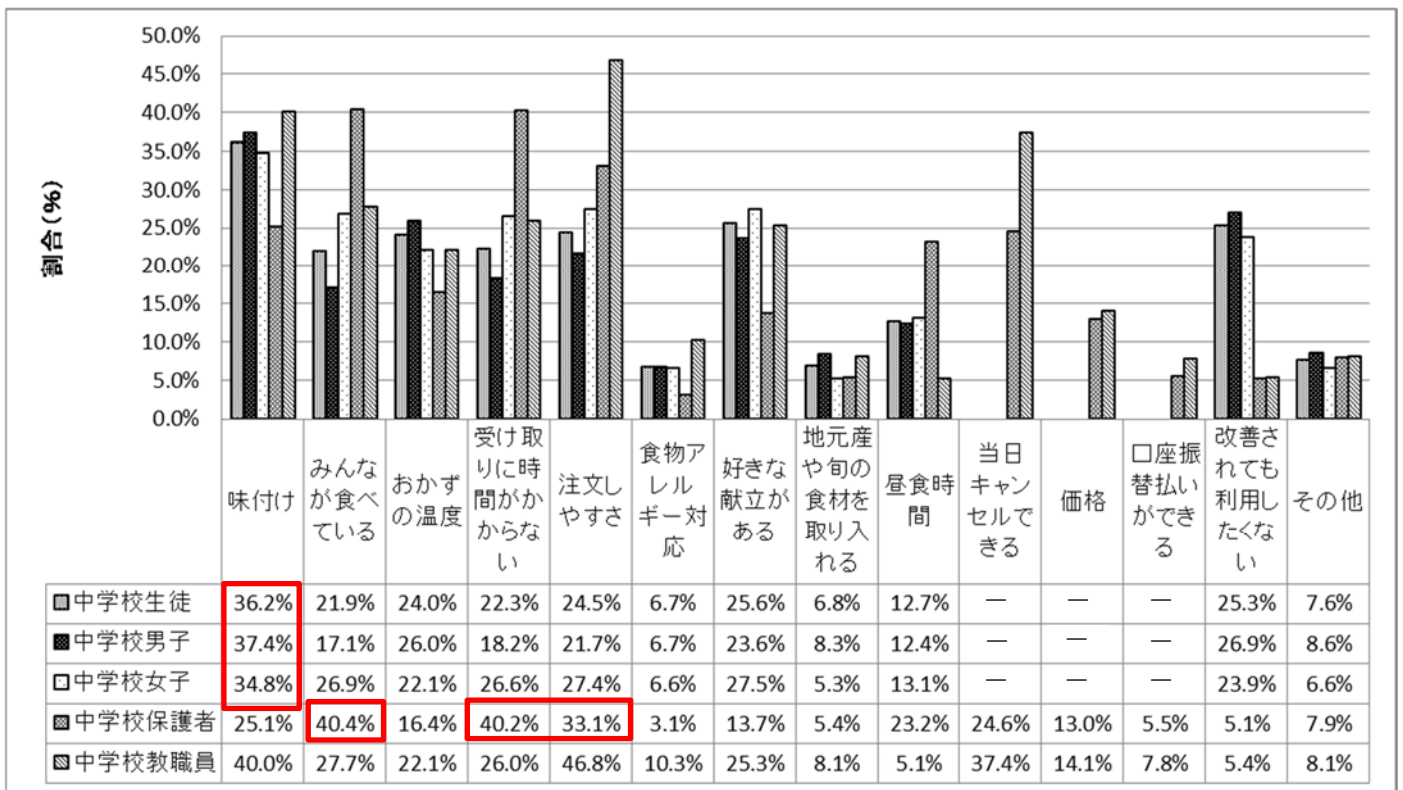
- ・中学校保護者では、約2割が「とても負担に感じている」、約7割が「お弁当作りを負担に感じているが、子どものために頑張って作っていると」回答した。弁当作りを「負担にあまり感じない」割合も1割以上となった。

設問：ハマ弁の感想について

- ・「おかずの満足度」、「ハマ弁の満足度」では、全ての対象者で「普通」以上の評価の割合が6割以上

設問：何を改善されれば、ハマ弁を利用したいと思うか（複数回答）

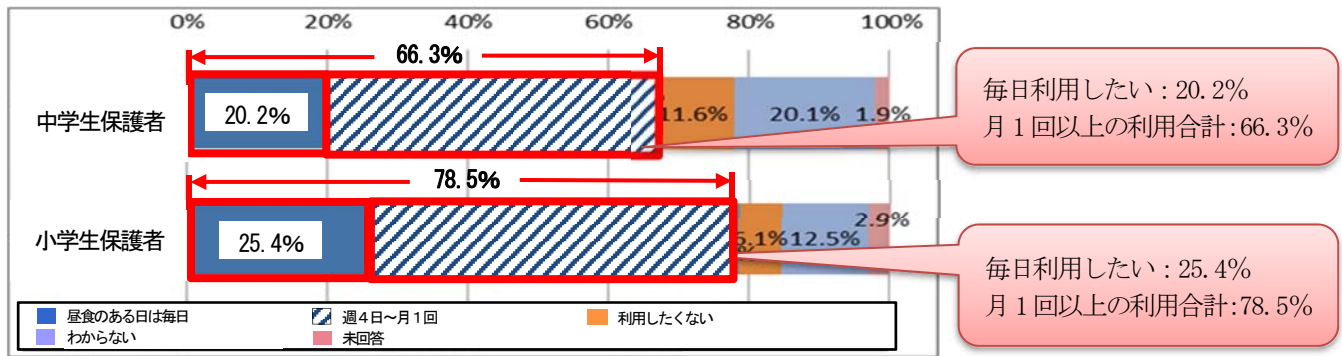
- ・中学校生徒では、「味付け」が最も高く（36.2%）、中学校保護者では、「みんなが食べている」（40.4%）、「受け取りに時間がかからない」（40.2%）、「注文しやすさ」（33.1%）が高くなっている。



設問：子どもがハマ弁でも家庭弁当でもどちらでもいいと言った場合のハマ弁希望利用頻度

・中学生保護者では約2割、小学生保護者では約2.5割がハマ弁を毎日利用したいと回答。

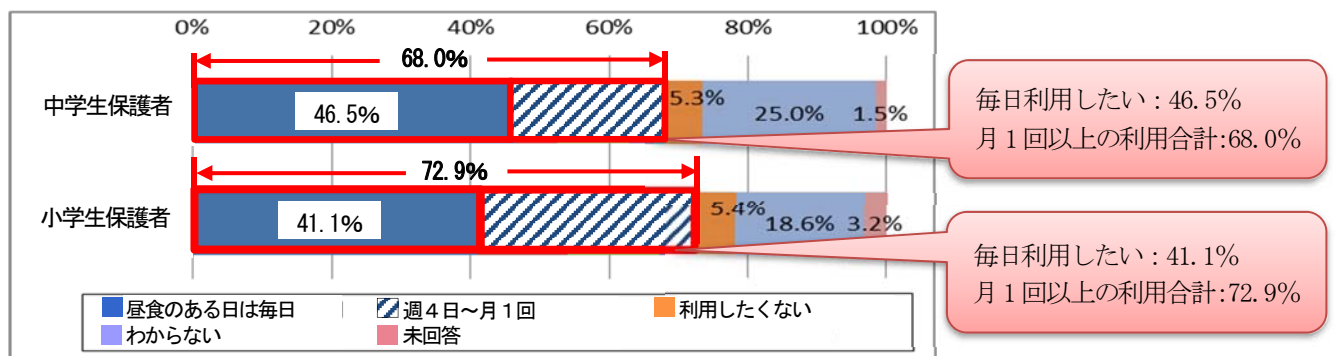
希望利用頻度週4回から月1回の利用を含めると、中学生保護者・小学生保護者ともに7割前後の方がハマ弁を利用したいと回答した。



設問：仮にデリバリー型給食を実施した場合の利用希望頻度

・中学生保護者では約5割、小学生保護者では約4割がデリバリー型給食を毎日利用したいと回答。

利用希望頻度週4回から月1回の利用を含めると、中学生保護者・小学生保護者ともに約7割がデリバリー型給食を利用したいと回答した。



4 令和3年度以降のハマ弁についての対話（サウンディング調査）の実施結果について（概要）

(1) 実施時期・参加状況

令和元年10月25日（金）～11月5日（火） 10事業者

(2) 対話の内容

ア 現在のハマ弁事業に係る各業務(献立作成、注文管理、調理体制、配達体制、受渡・回収方法等)に対する御意見・御提案

イ 令和3年度以降の事業に参入する際の事業実施体制、コスト管理・リスク管理、提案・要望等

ウ 利用しやすい環境づくりやスムーズな受渡方法等に関する御意見、御提案 など

(3) 実施結果（概要） ※5ページに別掲【参考1】

製造業者からは、供給体制を確保していくためには工場の新築や改修工事等の一定の条件整備が必要となるという意見が寄せられました。他にも、全ての業務を一括でなく、事業者の得意分野に応じて実施体制を切り分ける必要性があるなどの提案がありました。

5 『横浜市の中学校昼食に関する懇談会』委員からの主な意見

ハマ弁の現状について

- ・ ハマ弁は、当日注文など、様々な改善の取組がされており、保護者向けの様々なハードルはほぼ解決されているように感じる。
- ・ 兄弟姉妹がいる場合、同じメールアドレスで複数の利用登録・注文ができないこと等、注文方法には改善の余地があると思っている。
- ・ 試食し、想定以上に美味しかった。栄養面・安全面に配慮し、良く作られている。
- ・ 保護者を対象にしたセミナー・試食会で、実際に食べてもらった方にはハマ弁の魅力は伝わっている。一方で、「周りに注文している生徒がほとんどいないという話を聞くと、ハマ弁を注文しづらい」という声は多く聞く。

ハマ弁の利用促進について

- ・ 中学生は周りの目を気にするので、食べるのが当たり前となるような雰囲気づくりが重要。
- ・ 実際の保護者の声を聞いていると、ハマ弁そのものに対するマイナスイメージは感じられない。子どもたちが頼みやすい環境を整備すれば、保護者も子どもに勧めたいと思うのではないか。
- ・ 喫食率が上がらない要因の一つとして、保護者が子どもの気持ちを尊重しているところと、保護者が注文することに抵抗感を感じているところがあると思う。保護者の方がお弁当作りを負担に感じているという事は明確なので、「みんなが家庭弁当なのに自分の子どもだけハマ弁」という気持ちを軽減することが大事。
- ・ 生徒にとっては、味付けを改善していく事が大事。
- ・ 試食会は小学校6年生を対象に実施するのが効果的。児童がみんな一緒に試食する機会が必要だと思う。また、中学生も入学後に1年生全員で食べた方が良い。希望した学校だけではなく、全市一律が理想的。
- ・ ハマ弁は栄養バランスに優れていること、安心安全に提供されていることをもっとPRすべきだと思う。小学校給食とハマ弁の価格差がそれほどないことも発信すれば効果は大きい。

食育について

- ・ 地産地消の視点は重要。横浜には各地に素晴らしい食材、素材があることを生徒たちに知ってもらいたい。ハマ弁を通じて、好きなものだけを食べるのではなく、野菜も食べなければいけない理由を伝えることで、野菜もおいしく食べられるのではないか。
- ・ 美味しさを感じる要因は味だけではない。素材の説明や工場見学の機会など、顔が見える関係が作れると良い。
- ・ 献立内容や食材について理解を深めてもらうことで、より一層味わってハマ弁を食べてもらえるのではないか。

学校との連携について

- ・ ハマ弁は栄養バランスがよく考えられているので、献立の活用など、具体的な食育のノウハウを蓄積していくことが中学校現場の課題。
- ・ ハマ弁においても、献立内容や食材の情報について理解を深めてもらう方法を検討した方が良いと思う。
- ・ 受け渡しについては、ハマ弁の注文数が多いところにはスタッフを増やしてもらうなど、配膳に時間がかからず、教職員の負担にもならないような配慮も必要である。

今後の方向性について

- ・ 子どもや家庭が多様化して、一律な提供が難しい状況の中で、選択制をより良く発展させようという考え方は賛同できる。
- ・ 学校給食法上の給食とすることは利用する側にとってメリットがあると思う。一方で、給食法上に位置付けると衛生管理面も大変になることは確かだが、基本的にみんなが安心して利用でき、経済的な負担も少ないものになっていければよいと思うので、それを目指すという方向性については賛成したい。
- ・ 中学校保護者のアンケート結果を見ると、弁当作りを負担に感じている方が8割を超えている。やはり、給食にしていいただき、基本はハマ弁を食べてもらう形が良いと思うが、アレルギー対応なども考えると、そういう方は個別に昼食を持ってきてもらうのが良いのではないか。地域性を考慮して、ハマ弁を基本とする重点校を試行でつくり、その間に業者の供給体制も改善していく事で、徐々に重点校を増やしていくやり方もあるのではないか。

【参考1】令和3年度以降のハマ弁についての対話（サウンディング調査）の実施結果について（概要）

ア 参入を検討する際の実施体制

- ◇ 本事業に係る一連の業務（献立作成、注文管理、調理、配達、受渡、回収、洗浄・保管）について、実施できる範囲を伺いました。対話に参加いただいた10事業者のうち、全ての業務を実施できると回答した事業者が2者、一部の業務を実施できると回答した事業者が6者、その他が2者となっており、全ての業務を一括でなく、事業者の得意分野に応じて実施体制を切り分ける必要があるなどの提案がありました。
- ◇ 現在請け負っている業務の関係などから、現状で工場の供給体制に余裕のある事業者は少なく、一定量の供給体制を確保するには工場の新築・改修工事が必要となり時間を要するという事業者が多くありました。

イ 献立作成・調理体制

- ◇ 調理業務と献立作成業務を別の事業者が行う現在のスキームは、各々の専門性が生かして良いとする意見がある一方で、調理業務と献立作成業務を同じ事業者が行うことで効率化を図るべき、教育委員会等が献立を作成した方が事業者の負担が少ないなどの御意見もありました。

ウ 配達体制

- ◇ 配送は製造した事業者が責任をもって実施すべきだと考える事業者が多く、現在の仕組みを維持しながら食数の増加に伴い、配送車輛の大型化なども検討すべきとの意見がありました。
- ◇ 学校の昼食時間に合わせて、各学校に配送するためにはドライバーの人件費、車輛のリース費、燃料代などが製造会社の費用に上乗せされるため、民間の配送会社に別途委託した方が効率的との意見もありました。

エ 受渡方法・回収方法

- ◇ 受け渡しについては、生徒に個別に渡す方法では限界があるため、クラス配膳方式なども提案していきたい。食数が増えた場合、エレベーターのある学校などでは各階配膳や各教室配膳も可能との意見がありました。
- ◇ 配膳方法については、各学校の生徒数、学校施設、時程などによって柔軟に対応する必要があるとの意見もありました。

オ 令和3年度以降の事業実施体制・本事業に参入する場合のリスク

- ◇ 令和3年度以降、更に喫食数が増えると対応できなくなる可能性があるため、製造会社の数を増やした方が良い。現在の工場の生産体制には余裕がないので、横浜市が方針を明確化してもらえれば工場を新設、既存施設の改修などを行って参入したいとの意見がありました。
- ◇ 事業期間は工場の建物の原価償却や調理機器の購入を考えると5年間は短いように思うとの意見がありました。
- ◇ 喫食率が想定に届かない場合、工場新設などに投資した費用が回収できない可能性が高くなるため、契約条件が重要になるとの意見がありました。
- ◇ 事業体系として、人材不足は課題として考えているとの意見がありました。
- ◇ 事業費は配送、配膳等は固定費として一定としながら、調理、洗浄等は食数に応じて増減するような方式が望ましいとの意見がありました。

資料1

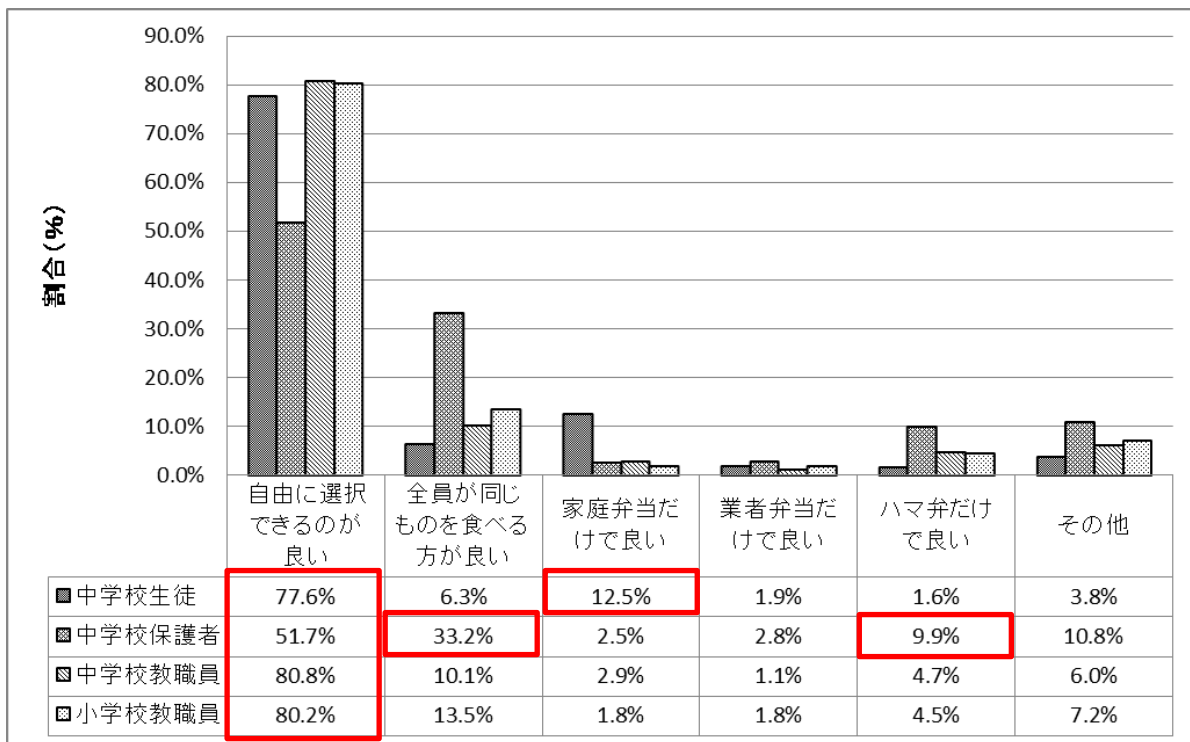
横浜市の中学校昼食に関するアンケート分析結果について

1 アンケート分析結果

(1) 横浜市の中学校昼食の「選択制」についての比較 (MA※)

| | 中学校生徒 | 中学校保護者 | 中学校教職員 | 小学校教職員 |
|-----------------|-------|--------|--------|--------|
| 自由に選択できるのが良い | 77.6% | 51.7% | 80.8% | 80.2% |
| 全員が同じものを食べる方が良い | 6.3% | 33.2% | 10.1% | 13.5% |
| 家庭弁当だけで良い | 12.5% | 2.5% | 2.9% | 1.8% |
| 業者弁当だけで良い | 1.9% | 2.8% | 1.1% | 1.8% |
| ハマ弁だけで良い | 1.6% | 9.9% | 4.7% | 4.5% |
| その他 | 3.8% | 10.8% | 6.0% | 7.2% |
| 無回答・無効 | 2.2% | 1.9% | 1.3% | 0.0% |
| 件数(n) | 3578 | 2118 | 447 | 111 |

※MA：複数回答

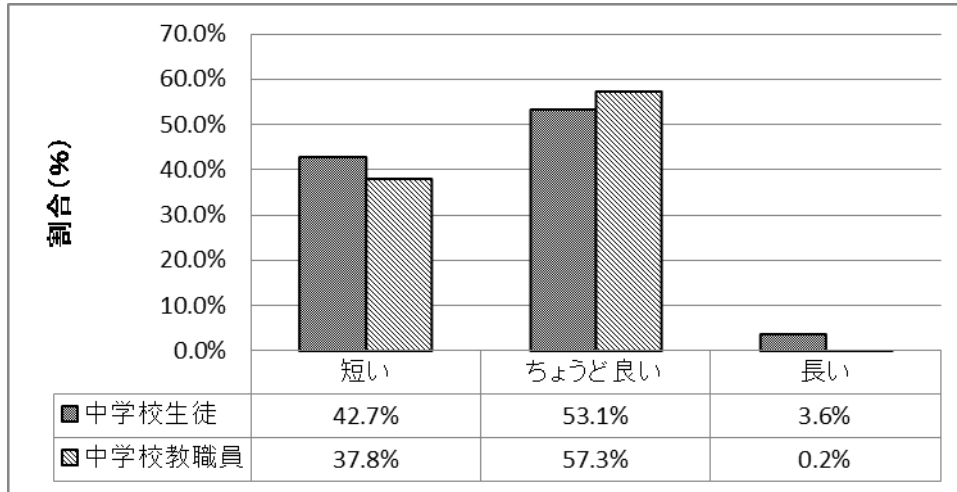


- ・すべての対象者で「自由に選択できるのが良い」と選択した人が最も多い。
- ・中学校生徒では、「家庭弁当だけで良い」と選択した人が他の対象者と比較して多い。
- ・中学校保護者では、「全員が同じものを食べる方が良い」と選択した人が他の対象者と比較して多い。
- ・中学校保護者では、「ハマ弁だけで良い」と選択した人も他の対象者と比較して多い。

(2) 昼食時間の感じ方の比較 (SA※)

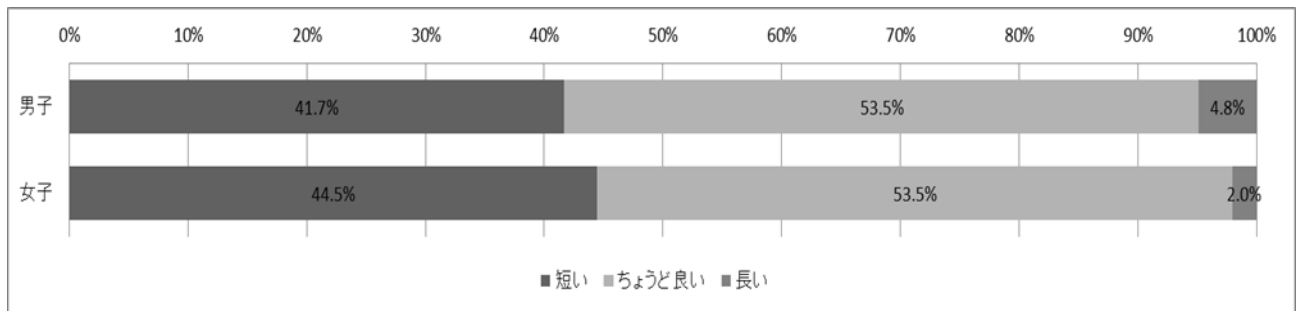
| | 中学校生徒 | 中学校教職員 |
|--------|-------|--------|
| 短い | 42.7% | 37.8% |
| ちょうど良い | 53.1% | 57.3% |
| 長い | 3.6% | 0.2% |
| 無回答・無効 | 0.60% | 0.00% |
| 件数(n) | 3557 | 447 |

※SA：単一回答

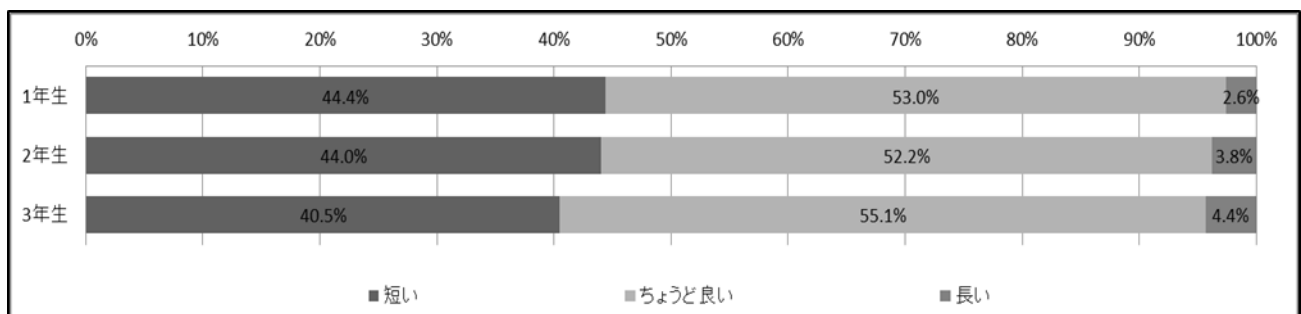


- ・中学校生徒、教職員ともに、「ちょうど良い」が最も多いが、「短い」と感じている人が約4割いた。
- ・「長い」と感じている人は、中学校生徒では少なく、中学校教職員ではほとんどいない。

男女別比較



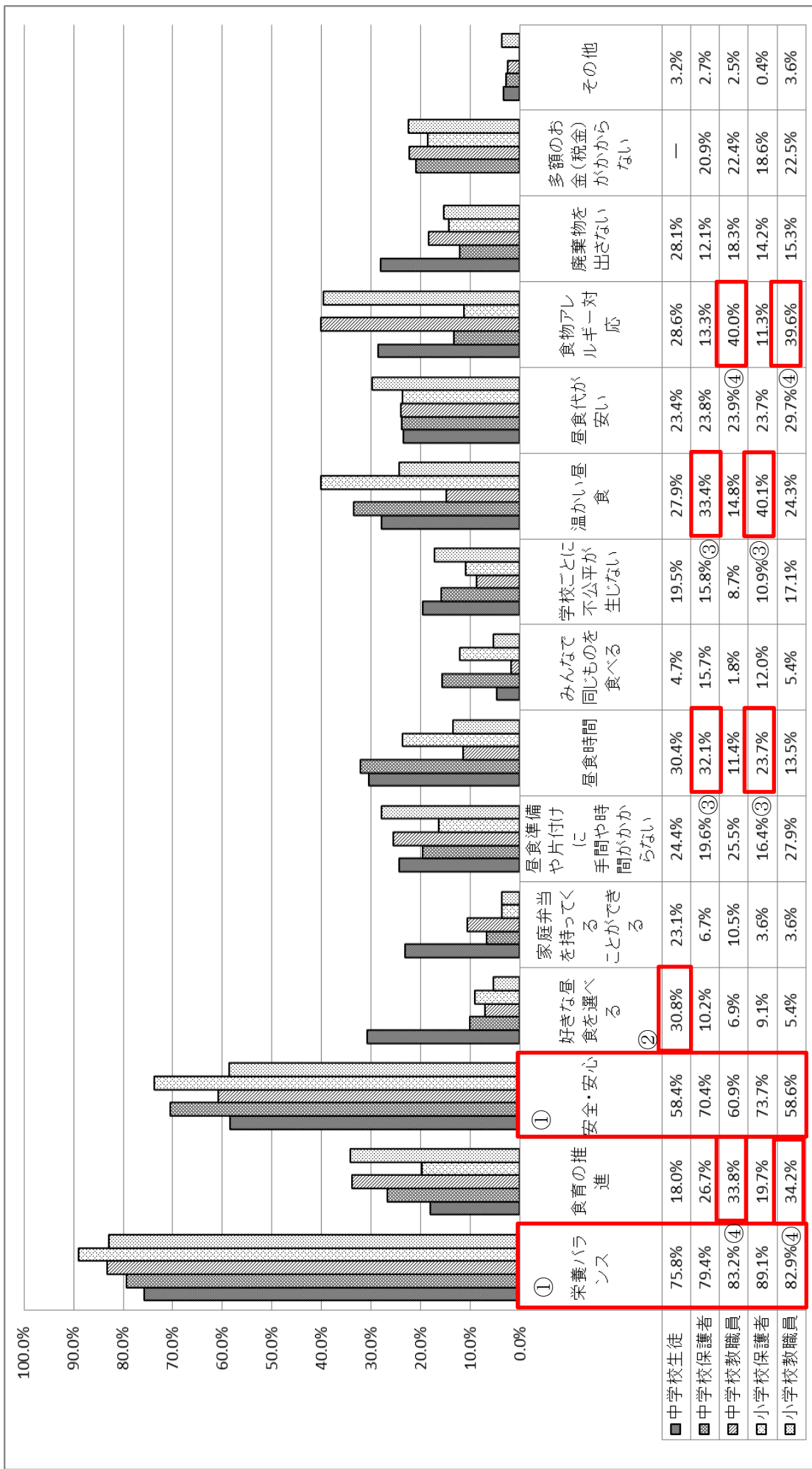
学年別比較



- ・男女別では、女子が短く感じている傾向があり、学年別では、3年生で他学年と比較して長く感じている傾向があった。

(3) 中学校の昼食で大切にすべきこと (MA)

| | 中学校生徒 | 中学校保護者 | 中学校教職員 | 小学校保護者 | 小学校教職員 |
|--------------------------|-------|--------|--------|--------|--------|
| 栄養バランス | 75.8% | 79.4% | 83.2% | 89.1% | 82.9% |
| 食育の推進 | 18.0% | 26.7% | 33.8% | 19.7% | 34.2% |
| 安全・安心 | 58.4% | 70.4% | 60.9% | 73.7% | 58.6% |
| 好きな昼食を選べる | 30.8% | 10.2% | 6.9% | 9.1% | 5.4% |
| 家庭弁当を持ってくる口とができる | 23.1% | 6.7% | 10.5% | 3.6% | 3.6% |
| 昼食準備や片付けに 手間や時間がかからない | 24.4% | 19.6% | 25.5% | 16.4% | 27.9% |
| 昼食時間 | 30.4% | 32.1% | 11.4% | 23.7% | 13.5% |
| みんなで同じものを食べる | 4.7% | 15.7% | 1.8% | 12.0% | 5.4% |
| 学校ごとに不公平が生じない | 19.5% | 15.8% | 8.7% | 10.9% | 17.1% |
| 温かい昼食 | 27.9% | 33.4% | 14.8% | 40.1% | 24.3% |
| 昼食代が安い | 23.4% | 23.8% | 23.9% | 23.7% | 29.7% |
| 食物アレルギー対応 | 28.6% | 13.3% | 40.0% | 11.3% | 39.6% |
| 廃棄物を出さない | 28.1% | 12.1% | 18.3% | 14.2% | 15.3% |
| 多額のお金(税金)がかからない | - | 20.9% | 22.4% | 18.6% | 22.5% |
| その他 | 3.2% | 2.7% | 2.5% | 0.4% | 3.6% |
| 無回答・無効 | 1.0% | | | | |
| n | 3578 | 2118 | 447 | 280 | 111 |



①すべての対象者で「栄養バランス」が1位、「安全・安心」が2位だった。

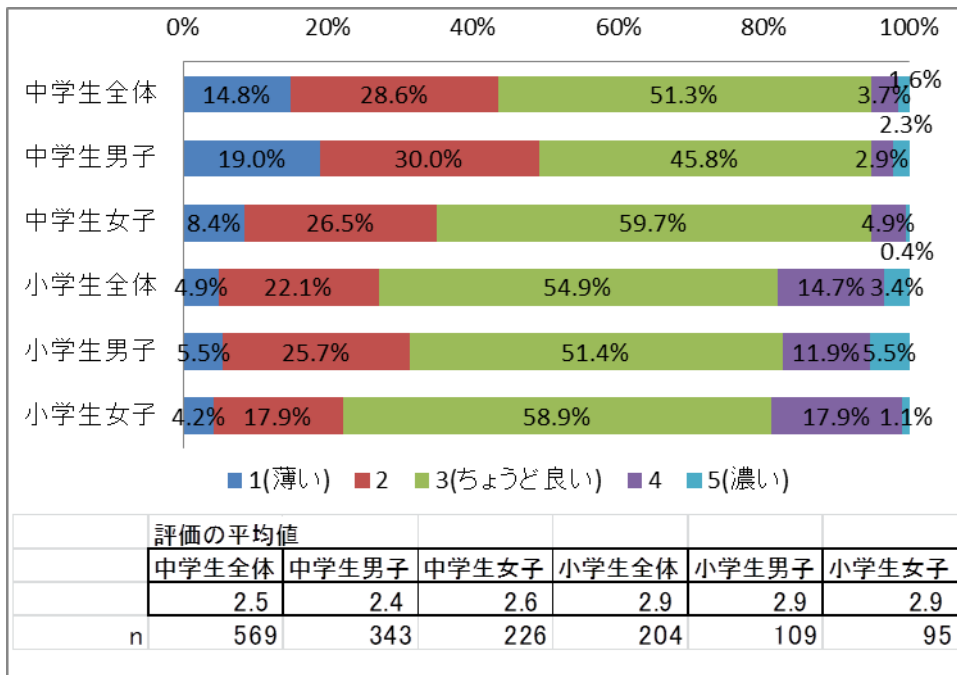
②中学校生徒では、「好きな昼食を選ぶ」の割合が他の対象者と比較して多かった。

③中学校保護者、小学校保護者では、「温かい昼食」「昼食時間」が他の対象者と比較して多かった。

④中学校教職員、小学校教職員では、「食物アレルギー対応」「食育の推進」が他の対象者と比較して多かった。

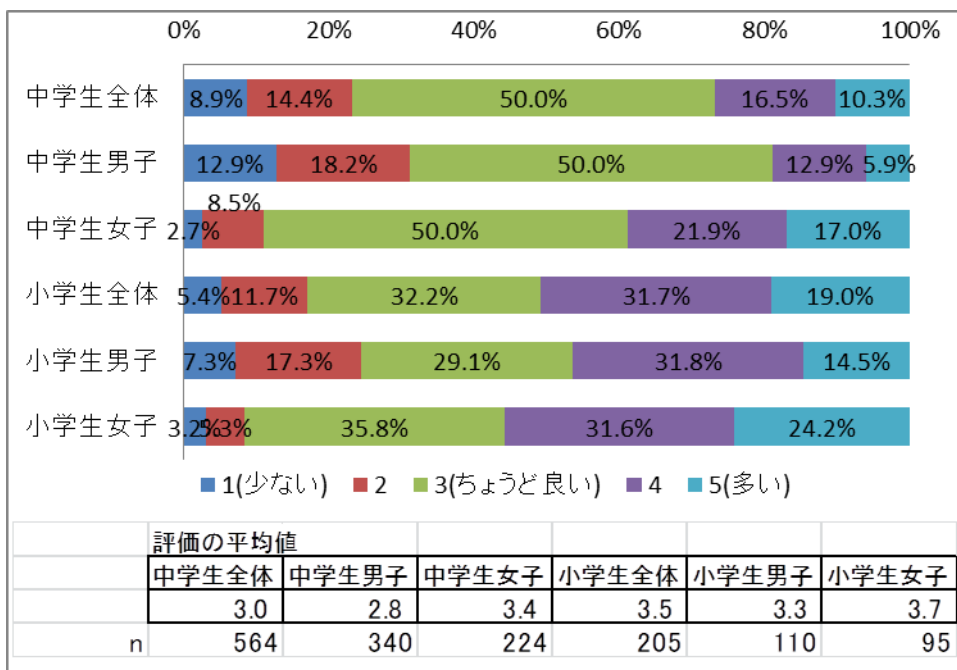
(4) ハマ弁の感想

味付け (SA)



・小学生、中学生ともに、「ちょうど良い」が最も多く、中学生男子以外では、その割合は過半数となっていた。中学生男子では、他の対象者と比較して「味が薄い」と感じている傾向がある。

おかずの量 (SA)

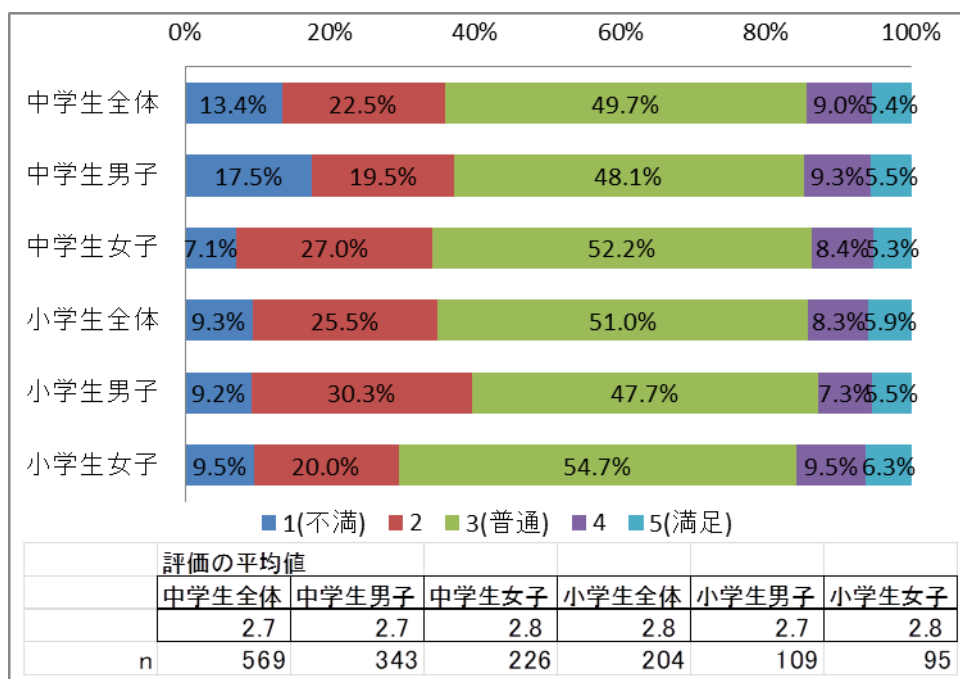


※ 小学校に提供しているハマ弁は、中学校と同じ物を提供

(ご飯のサイズは3校が小盛、3校が中盛)

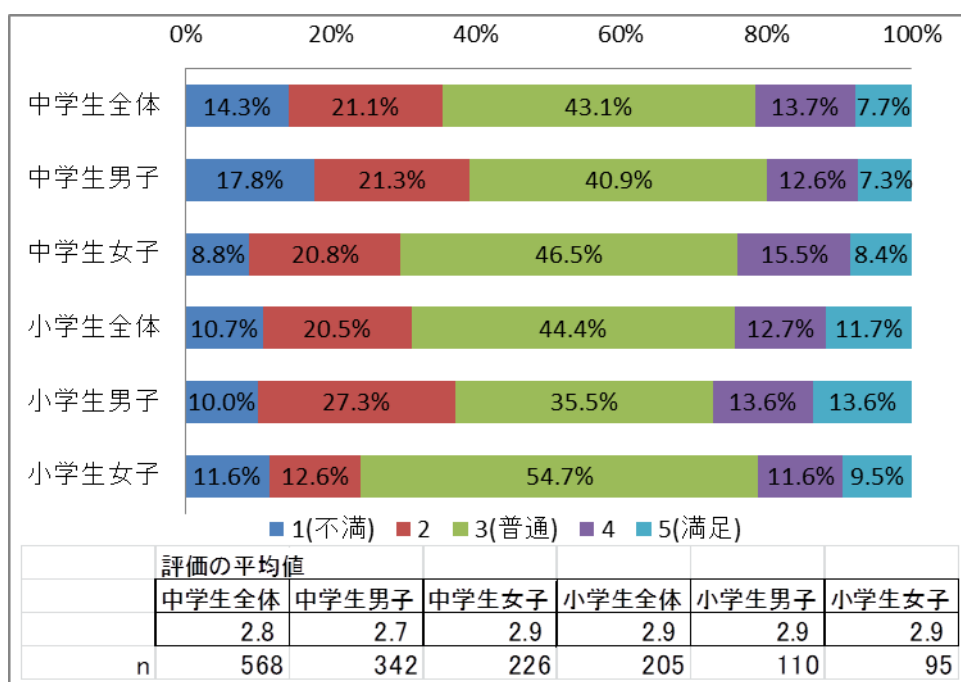
・中学生男子では「少ない」、中学生女子、小学生では「多い」という評価となっている。

おかずの満足度（S A）



・すべての対象者で、「普通」以上と評価している割合が6割以上となった。

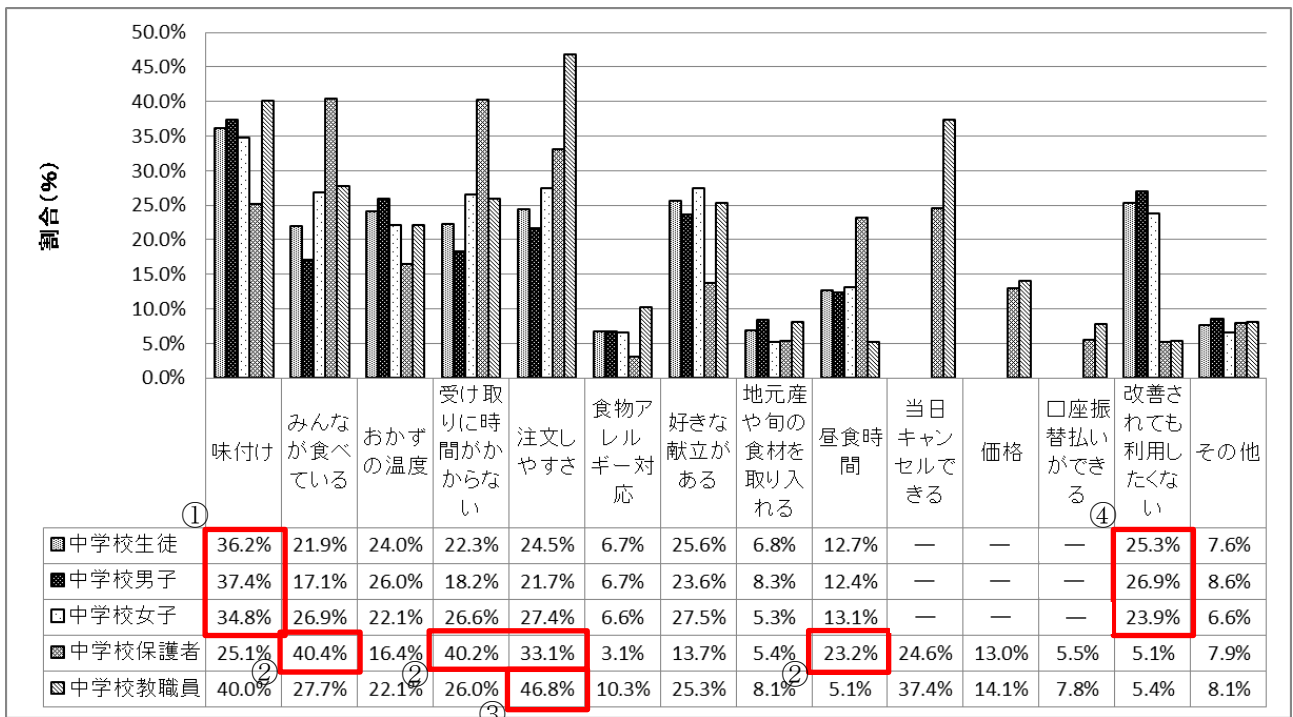
ハマ弁の満足度（S A）



・すべての対象者で「普通」以上と評価している割合が6割以上で、小学校女子、中学校女子では、その割合が7割以上だった。

(5) 何を改善されれば、ハマ弁を利用したいと思うか (MA)

| | 中学校生徒 | 中学校男子 | 中学校女子 | 中学校保護者 | 中学校教職員 |
|----------------|-------|-------|-------|--------|--------|
| 味付け | 36.2% | 37.4% | 34.8% | 25.1% | 40.0% |
| みんなが食べている | 21.9% | 17.1% | 26.9% | 40.4% | 27.7% |
| おかずの温度 | 24.0% | 26.0% | 22.1% | 16.4% | 22.1% |
| 受け取りに時間がかからない | 22.3% | 18.2% | 26.6% | 40.2% | 26.0% |
| 注文しやすさ | 24.5% | 21.7% | 27.4% | 33.1% | 46.8% |
| 食物アレルギー対応 | 6.7% | 6.7% | 6.6% | 3.1% | 10.3% |
| 好きな献立がある | 25.6% | 23.6% | 27.5% | 13.7% | 25.3% |
| 地元産や旬の食材を取り入れる | 6.8% | 8.3% | 5.3% | 5.4% | 8.1% |
| 昼食時間 | 12.7% | 12.4% | 13.1% | 23.2% | 5.1% |
| 当日キャンセルできる | — | — | — | 24.6% | 37.4% |
| 価格 | — | — | — | 13.0% | 14.1% |
| 口座振替払いができる | — | — | — | 5.5% | 7.8% |
| 改善されても利用したくない | 25.3% | 26.9% | 23.9% | 5.1% | 5.4% |
| その他 | 7.6% | 8.6% | 6.6% | 7.9% | 8.1% |
| n | 3269 | 1655 | 1614 | 2118 | 447 |

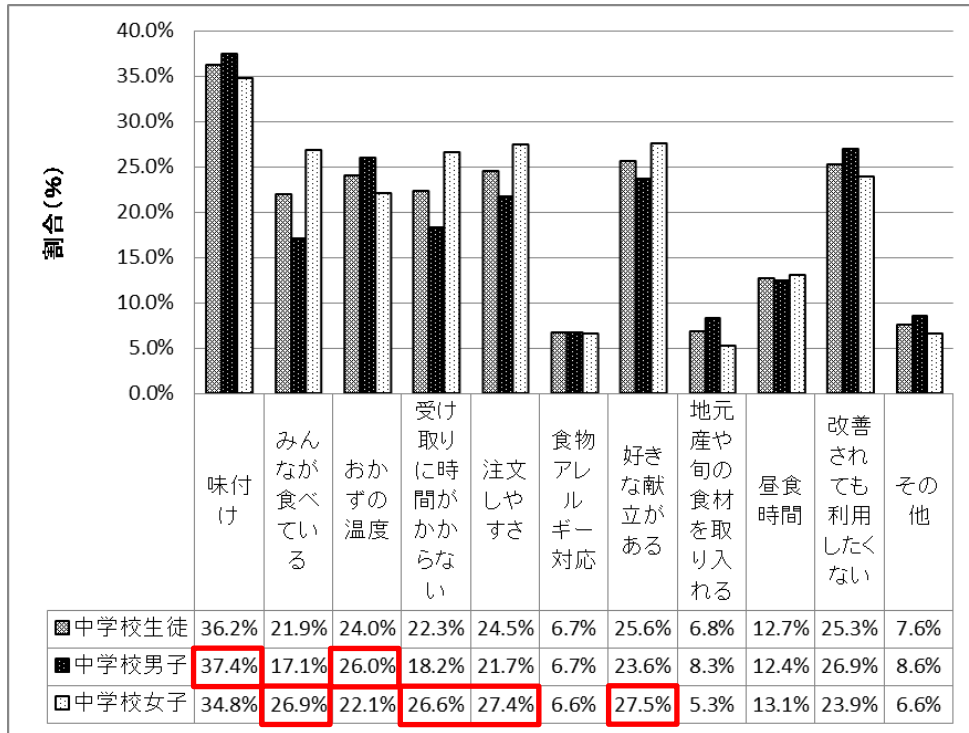


① 中学校生徒では、「味付け」が最も高かった。

② 中学校保護者では、「味付け」よりも「みんなが食べている」「受け取りに時間がかからない」「注文しやすさ」が高くなっており、「昼食時間」も生徒よりも高くなっている。

③ 中学校教職員では、「味付け」よりも「注文しやすさ」が高くなっている。

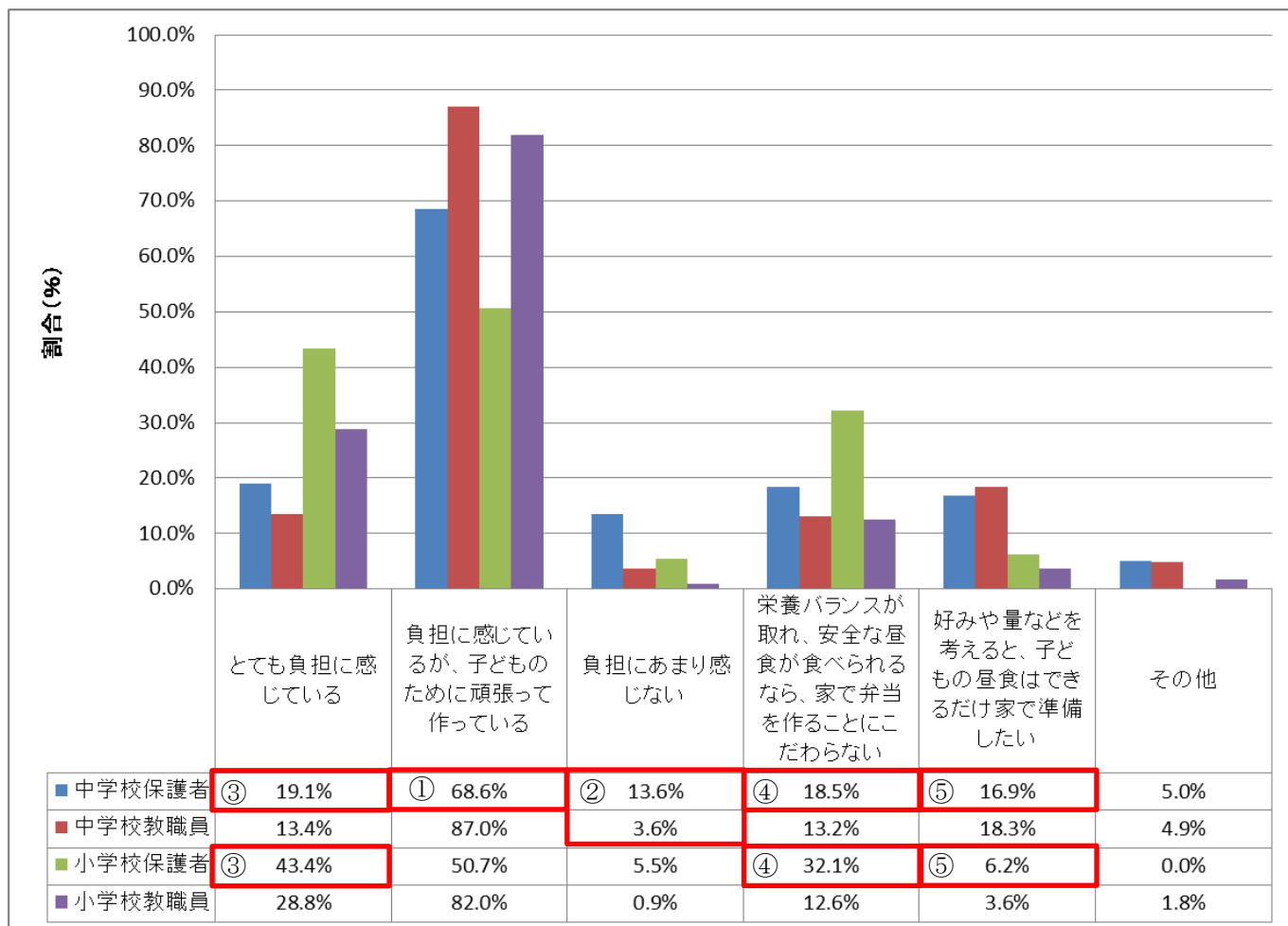
④ 中学校生徒では、約4分の3の生徒が何らかの改善がされれば、ハマ弁を利用したいと考えている一方で、約4分の1の生徒は改善されてもハマ弁を利用したくないと回答した。



・生徒の性別で比較すると、女子では「みんなが食べている」「受け取りに時間がかからない」「注文のしやすさ」「好きな献立がある」が男子よりも高くなっており、男子では「味付け」「おかずの温度」が女子よりも高くなっている。

(6) 弁当作りをどのように感じているか (MA)

| | 中学校保護者 | 中学校教職員 | 小学校保護者 | 小学校教職員 |
|--|--------|--------|--------|--------|
| とても負担に感じている | 19.1% | 13.4% | 43.4% | 28.8% |
| 負担に感じているが、子どものために頑張って作っている | 68.6% | 87.0% | 50.7% | 82.0% |
| 負担にあまり感じない | 13.6% | 3.6% | 5.5% | 0.9% |
| 栄養バランスが取れ、安全な昼食が食べられるなら、家で弁当を作ることにこだわらない | 18.5% | 13.2% | 32.1% | 12.6% |
| 好みや量などを考えると、子どもの昼食はできるだけ家で準備したい | 16.9% | 18.3% | 6.2% | 3.6% |
| その他 | 5.0% | 4.9% | 0.0% | 1.8% |



①中学校保護者では、約7割がお弁当作りを負担に感じているが、子どものために頑張って作っていると回答した。

②中学校保護者では、弁当作りを「負担にあまり感じない」割合が10%以上おり、教職員が感じているよりも負担にあまり感じていない保護者が多い結果となった。

③小学生保護者では、約4割がお弁当作りをとても負担に感じており、中学生保護者と比較して10ポイント以上の差があった。

④小学生保護者では、約3割が栄養バランスが取れ、安全な昼食が食べられるなら、家で弁当を作ることにこだわらないと回答しており、中学生保護者と比較して10ポイント以上の差があった。

⑤中学生の保護者では、好みや量を考えると、子どもの昼食はできるだけ家で用意したいと考えている保護者が小学校保護者よりも10ポイント以上多かった。

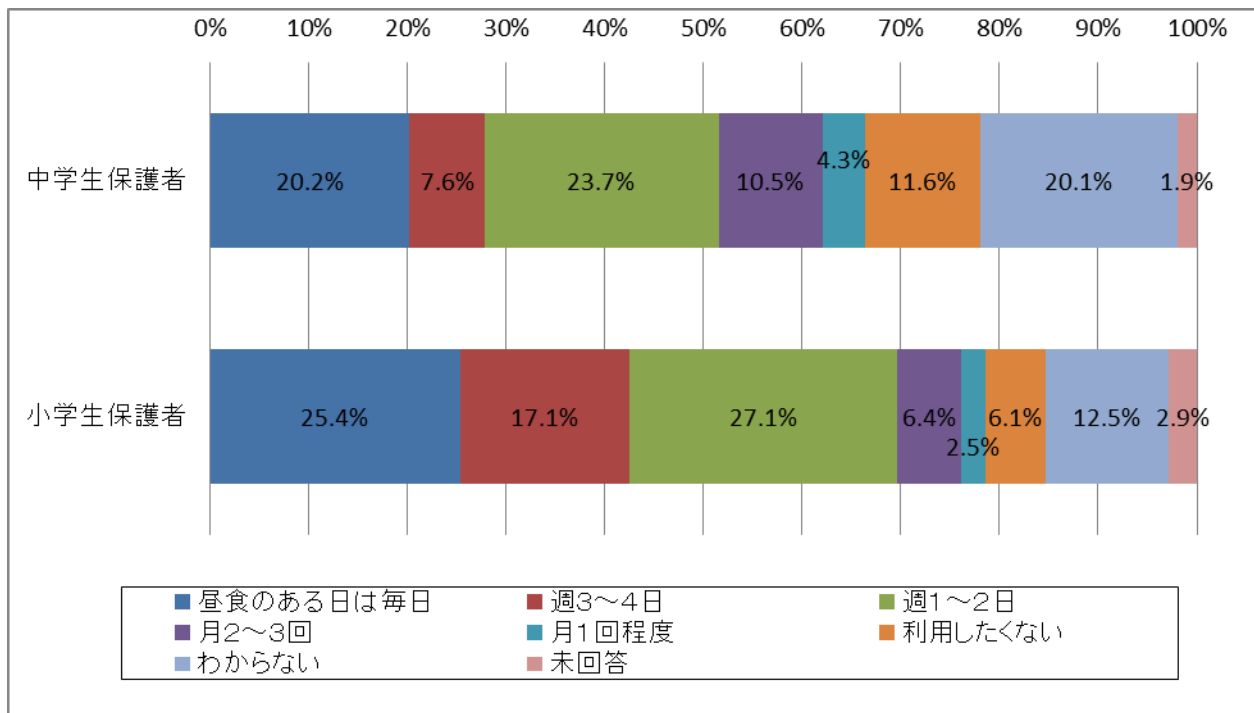
| | 中学校保護者 | 中1保護者 | 中2保護者 | 中3保護者 | 小学校保護者 | 小学校教職員 | 中学校教職員 |
|---|--------|-------|-------|-------|--------|--------|--------|
| とても負担に感じている | 19.1% | 19.2% | 20.3% | 17.5% | 43.4% | 28.8% | 13.4% |
| 負担に感じているが、子どものために頑張って作っている | 68.6% | 70.0% | 69.5% | 66.0% | 50.7% | 82.0% | 87.0% |
| 負担にあまり感じない | 13.6% | 13.5% | 13.5% | 13.7% | 5.5% | 0.9% | 3.6% |
| 栄養バランスが取れ、安全な昼食が食べられるなら、家で弁当を作ることにはこだわらない | 18.5% | 17.2% | 17.6% | 21.1% | 32.1% | 12.6% | 13.2% |
| 好みや量などを考えると、子どもの昼食はできるだけ家で準備したい | 16.9% | 18.1% | 14.5% | 18.1% | 6.2% | 3.6% | 18.3% |
| その他 | 5.0% | 3.7% | 6.1% | 5.2% | 0.0% | 1.8% | 4.9% |
| n | 2118 | 780 | 705 | 630 | 280 | 111 | 447 |

(学年不明3人は学年別から除外)

- ・中学校保護者について、学年別で比較したが、顕著な差は見られなかった。

(7) 子どもがハマ弁でも家庭弁当でもどちらでもいいと言った場合のハマ弁希望利用頻度 (SA)

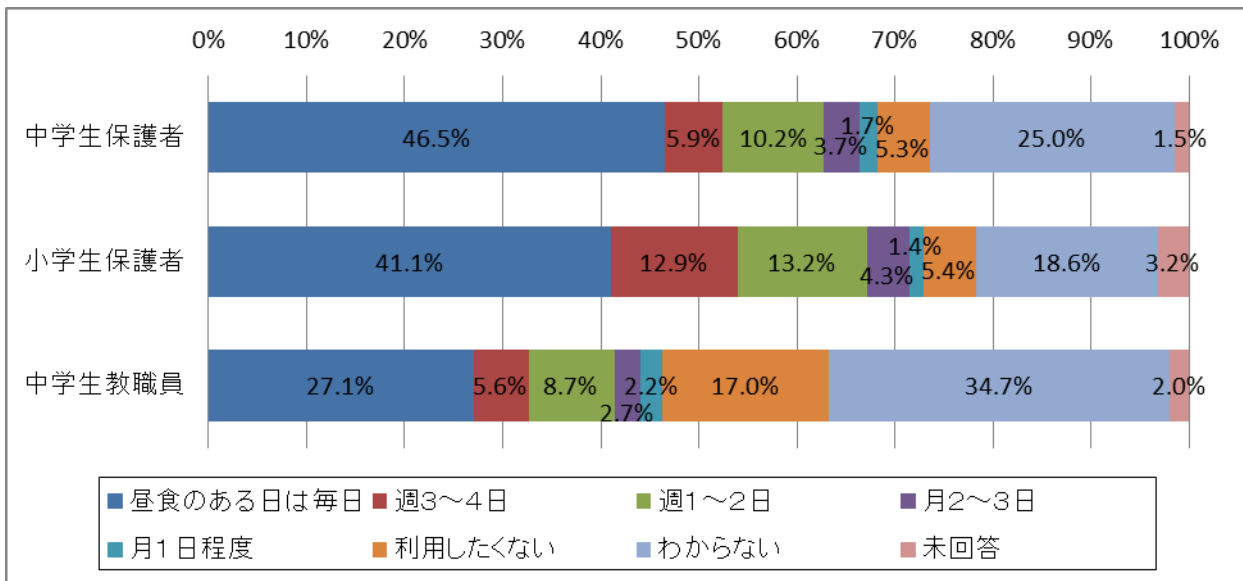
| | 中学生保護者 | | 小学生保護者 | |
|-----------|--------|-------|--------|-------|
| 昼食のある日は毎日 | 428 | 20.2% | 71 | 25.4% |
| 週3~4日 | 161 | 7.6% | 48 | 17.1% |
| 週1~2日 | 502 | 23.7% | 76 | 27.1% |
| 月2~3回 | 223 | 10.5% | 18 | 6.4% |
| 月1回程度 | 92 | 4.3% | 7 | 2.5% |
| 利用したくない | 246 | 11.6% | 17 | 6.1% |
| わからない | 425 | 20.1% | 35 | 12.5% |
| 未回答 | 41 | 1.9% | 8 | 2.9% |
| n | 2118 | | 280 | |



- ・中学生保護者では約2割、小学生保護者では約25%がハマ弁を毎日利用したいと回答した。
- ・中学生保護者では、約7割がハマ弁を利用したいと回答した。
- ・小学生保護者では、約8割がハマ弁を利用したいと回答した。

(8) デリバリー型給食の利用希望頻度 (S A)

| | 中学生保護者 | 小学生保護者 | 中学生教職員 |
|-----------|--------|--------|--------|
| 昼食のある日は毎日 | 46.5% | 41.1% | 27.1% |
| 週3～4日 | 5.9% | 12.9% | 5.6% |
| 週1～2日 | 10.2% | 13.2% | 8.7% |
| 月2～3日 | 3.7% | 4.3% | 2.7% |
| 月1日程度 | 1.7% | 1.4% | 2.2% |
| 利用したくない | 5.3% | 5.4% | 17.0% |
| わからない | 25.0% | 18.6% | 34.7% |
| 未回答 | 1.5% | 3.2% | 2.0% |
| n | 2118 | 280 | 447 |



- ・中学生保護者では約5割、小学生保護者では約4割がデリバリー型給食を毎日利用したいと回答した。
- ・中学生保護者では、約7割がデリバリー型給食を利用したいと回答した。
- ・小学生保護者では、約7割がデリバリー型給食を利用したいと回答した。

| | 中学生保護者全体 | 1年生保護者 | 2年生保護者 | 3年生保護者 | 小学生保護者 | 中学生教職員 |
|-----------|----------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 昼食のある日は毎日 | 46.5% | 47.8% | 46.2% | 45.2% | 41.1% | 27.1% |
| 週3～4日 | 5.9% | 5.4% | 6.7% | 5.9% | 12.9% | 5.6% |
| 週1～2日 | 10.2% | 11.0% | 8.9% | 10.6% | 13.2% | 8.7% |
| 月2～3日 | 3.7% | 4.2% | 3.1% | 3.8% | 4.3% | 2.7% |
| 月1日程度 | 1.7% | 1.9% | 1.7% | 1.6% | 1.4% | 2.2% |
| 利用したくない | 5.3% | 5.1% | 4.8% | 6.2% | 5.4% | 17.0% |
| わからない | 25.0% | 22.9% | 26.8% | 25.4% | 18.6% | 34.7% |
| 未回答 | 1.5% | 1.5% | 1.7% | 1.3% | 3.2% | 2.0% |
| n | 2118 | 780 | 705 | 630 | 280 | 447 |

(学年不明3人は学年別から除外)

- ・中学校保護者について、学年別に比較したが、顕著な差は見られなかった。

(9) 自由意見欄の分析

ア 中学校生徒向けアンケート自由記入欄の分析

| | | n | 3578 |
|------|------------------|------|-------|
| | | 件数 | 割合 |
| 記入なし | | 1794 | 50.1% |
| 記入あり | | 1784 | 49.9% |
| | 昼食時間が短い | 391 | 10.9% |
| | 方式を問わず給食を希望 | 146 | 4.1% |
| | 小学校のような給食を希望 | 32 | 0.9% |
| | センター、親子方式の給食を希望 | 5 | 0.1% |
| | ハマ弁を肯定する意見(※1) | 154 | 4.3% |
| | ハマ弁の改善を求める意見(※2) | 142 | 4.0% |
| | 現状を評価する意見(※3) | 118 | 3.3% |
| | 家庭弁当を肯定する意見(※4) | 73 | 2.0% |
| | 楽しい(※5) | 38 | 1.1% |
| | 特になし | 452 | 12.6% |
| | その他 | 233 | 6.5% |

※ 記入内容の分類は、複数の項目に該当する場合、それぞれの項目にカウントしているため、合計件数が合わない場合があります。

※1 美味しい、いつも食べている、助かっている など

※2 美味しくしてほしい、おかずを温かくしてほしい、受け渡し方法の改善要望 など

※3 選択制のままで良い、昼食時間はちょうど良い など

※4 家庭弁当だけで良い、家庭弁当が一番おいしい、家庭弁当を持ってこれればよい など

※5 昼食時間が楽しい、皆で食べるのが楽しい など

イ 中学生 保護者向けアンケート自由記入欄の分析

| | | n | 2118 |
|------|-----------------|------|-------|
| | | 件数 | 割合 |
| 記入なし | | 992 | 46.8% |
| 記入あり | | 1126 | 53.2% |
| | 昼食時間が短い | 307 | 14.5% |
| | 方式を問わず給食を希望 | 282 | 13.3% |
| | 小学校のような給食を希望 | 190 | 9.0% |
| | センター、親子方式の給食を希望 | 84 | 4.0% |
| | ハマ弁を肯定する意見 | 189 | 8.9% |
| | ハマ弁の改善を求める意見 | 143 | 6.8% |

ウ 中学校教職員向けアンケート自由記入欄の分析

| | | n | 447 |
|------|-----------------|-----|-------|
| | | 件数 | 割合 |
| 記入なし | | 299 | 66.9% |
| 記入あり | | 148 | 33.8% |
| | 昼食時間が短い | 7 | 1.6% |
| | 方式を問わず給食を希望 | 22 | 4.9% |
| | 小学校のような給食を希望 | 1 | 0.2% |
| | センター方式の給食を希望 | 2 | 0.4% |
| | ハマ弁を肯定する意見 | 16 | 3.6% |
| | ハマ弁の改善を求める意見 | 42 | 9.4% |
| | 家庭弁当を肯定する意見 | 13 | 2.9% |
| | 選択制を肯定する意見 | 9 | 2.0% |
| | 教職員の業務負担を懸念する意見 | 7 | 1.6% |
| | 特になし | 10 | 2.2% |
| | その他 | 19 | 4.3% |

エ 小学校6年生向けアンケート自由記入欄の分析

| | | n | 432 |
|------|--------------|-----|-------|
| | | 件数 | 割合 |
| 記入なし | | 170 | 39.4% |
| 記入あり | | 262 | 60.7% |
| | 給食を希望する意見 | 3 | 1.1% |
| | ハマ弁を肯定する意見 | 47 | 17.9% |
| | ハマ弁の改善を求める意見 | 111 | 42.4% |
| | 家庭弁当を肯定する意見 | 7 | 2.7% |
| | 特になし | 51 | 19.5% |
| | その他 | 43 | 16.4% |

オ 小学校6年生保護者向けアンケートの自由意見欄の分析

| | | n | 280 |
|------|-----------------|-----|-------|
| | | 件数 | 割合 |
| 記入なし | | 147 | 52.5% |
| 記入あり | | 133 | 47.5% |
| | 昼食時間が短い | 26 | 9.3% |
| | 方式を問わず給食を希望 | 14 | 5.0% |
| | 小学校のような給食を希望 | 31 | 11.1% |
| | センター、親子方式の給食を希望 | 19 | 6.8% |
| | ハマ弁を肯定する意見 | 17 | 6.1% |
| | ハマ弁の改善を求める意見 | 15 | 5.4% |
| | その他 | 11 | 3.9% |

カ 小学校教職員向けアンケートの自由意見欄の分析

| | | n | 111 |
|------|-----------------|----|-------|
| | | 件数 | 割合 |
| 記入なし | | 66 | 59.5% |
| 記入あり | | 45 | 40.5% |
| | 方式を問わず給食を希望 | 5 | 4.5% |
| | 小学校のような給食を希望 | 1 | 0.9% |
| | センター、親子方式の給食を希望 | 1 | 0.9% |
| | ハマ弁を肯定する意見 | 7 | 6.3% |
| | ハマ弁の改善を求める意見 | 35 | 31.5% |
| | 家庭弁当を肯定する意見 | 1 | 0.9% |

横浜市の中学校昼食に関する懇談会

《委員構成》

| | 所属・職名 | 氏名 |
|--------|-----------------------------|--------|
| 外部有識者 | 神奈川県立保健福祉大学保健福祉学部栄養学科教授 | 鈴木 志保子 |
| | 国土舘大学文学部教育学科教授 | 鈴木 裕子 |
| | 神奈川大学経営学部国際経営学科特任准教授 | 山岡 義卓 |
| | 横浜市立大学国際商学部国際マネジメント研究科准教授 | 柴田 典子 |
| | 横浜ガストロノミ協議会常任・相談役（霧笛楼総料理長） | 今平 茂 |
| 保護者の声 | 横浜市PTA連絡協議会 会長（泉区泉が丘中学校） | 秋好 直樹 |
| | 中区横浜吉田中学校PTA会長 | 小島 みどり |
| | 港北区城郷中学校PTA副会長 | 越井 美香 |
| 学校現場の声 | 中学校長会役員会（旭区上白根中学校長） | 室伏 健治 |
| | 中学校長会健康教育部（金沢区富岡東中学校長） | 村井 法泰 |
| | 小学校長会健康教育研究部（都筑区勝田小学校長） | 相坂 俊 |
| | 中学校教育研究会技術・家庭部会（旭区希望が丘中学校長） | 萬谷 恵三子 |

事務局：教育委員会事務局健康教育課 オブザーバ：教育委員会事務局及び市長部局関係各課